事務事業マネジメントシート（令和３年度目標設定）

事務事業№	060210

事務事業名		空家等対策事業		目標設定日	令和3年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	都市計画課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	建築住宅係
	施策	04	良好な住環境の整備	内線電話	273・358
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	８款	土木費	計上	
	項	４項	都市計画費	実施期間	
	目	５目	建築景観費	平成29年度　～	

	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
目指す姿	市内の空き家所有者	空き家の売却や相続などの相談を市が受けることによって、住宅資産の好循環を図る。
	空き家周辺住民	適切な管理が行われていない空き家の状態を解決することにより、市民の安全性の確保や生活環境の保全を図る。
現状・課題	空き家調査を拡大し、所有者へのアンケート等を通し、問題解決のための相談窓口を周知している。空き家バンクや補助金等の支援策を充実し、住宅循環と市民生活環境の保全を確保したい。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	空家等対策の推進に関する特別措置法
事務事業概要	空き家実態調査を拡大し、所有者へ補助制度等の周知を行う。また、空き家バンクや補助金、パンフレット等の支援を充実し、空き家利活用推進を図る。	

令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	空き家相談件数	50件以上
	空き家バンク登録数	10件
	空き家パンフレット及びチラシなどの広報	３回
	空き家実態調査	900件
	管理不十分な空き家の所有者への通知	100件

事務事業コスト インプット	項目		単位	令和元年度	令和２年度	令和３年度
	予算額	当初予算	円	269,000	72,000	31,805,000
		補正・流用等	円		1,054,000	―
		合計	円	269,000	1,126,000	31,805,000
	決算（見込）額　A		円	30,150	1,126,000	―
	財源内訳	国庫支出金	円			8,752,000
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R２は予算額	一般財源	円	30,150	1,126,000	23,053,000
	正規職員数		人	0.52	1.12	1.18
	人件費　B		円	3,349,840	7,246,400	10,414,680
	総事業費　A＋B		円	3,379,990	8,372,400	42,219,680
	市民１人当たりコスト		円	79	198	1,002

成果指標　アウトカム	方向		令和元年度		令和２年度		令和３年度	
空き家相談の解決数	増加	目標	―	件	30	件	50	件
		成果	13	件	38	件	―	
空き家バンク登録件数	増加	目標	10	件	10	件	10	件
		成果	10	件	12	件	―	
成果指標と目標値を設定した理由	空き家周辺の住環境保全。空き家利活用促進の効果における指標。							

令和３年度の実施方針	拡充して実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	空き家利活用の支援策の拡充を行い、住宅資産の循環を図る。また、空き家相談窓口の広報を拡充し、相談件数及び解決件数を増加させるよう努める。						

事務事業名	空家等対策事業	部・局	建設水道部
		課・室	都市計画課
		係	建築住宅係

令和３年度　業務スケジュール

活動内容	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
空き家相談窓口運営	受付（随時）											
	チラシ・パンフレット配布									広報なかの特集		
				地域おこし協力隊活動								
空き家バンク事業	申請、受付、登録（随時）											
	空き家ゲートウェイとの連携事務						空き家活用イベント実施					
空き家実態調査	現地調査（委託事業）											
						空き家台帳整備						
	空き家所有者へのアンケート送付											